



学校日記はこちらから



@TSUKUSHINO.JHS

〇〇「今自分に何ができますか？」(二学期始業式の話より) 〇〇校長 河田 真一

この夏休み、みなさんはどのように過ごしていただでしょうか。自分自身の生活を振り返ると同時に、少し目を外に向けてみてください。

この夏、日本、そして世界では、甚大な自然災害が相次いで発生しました。まず、7月28日に熊本県を中心に大きな地震が発生しました。最大で約10万8000戸に及ぶ断水が発生し、4万棟を超える住宅が被害を受けました。

また、8月13日から14日にかけては、千葉県を激しい豪雨が襲いました。1時間に100ミリを超える猛烈な雨が降り、2000棟以上の住宅が浸水し、約2万5000軒で停電が発生しました。8月27日に富山県や石川県などの北陸地方でもおこり、多くの住宅が浸水したり、道路が冠水して地域が孤立したりする被害が今も続いています。

さらに、目を世界に向けると、8月26日にネパールで大規模な洪水や土石流が発生し、いまだ被害の総数が把握できないほどの大惨事となっています。

このようなニュースを聞いたとき、みなさんは何を考え、どのように感じたでしょうか。「遠くの場所で大変なことが起きているな」と、他人事として受け止めるだけで終わってしまった人はいないでしょうか。

一学期に本校で実施したアンケートの結果を見ると、「誰かの役に立ちたい」「社会や他人のために貢献したい」という意識について、自分自身で自信を持って「できている」と答えた人が少ないという結果が見えてきました(昨年度に引き続き)。この「他者や社会のために貢献しようとする意識」のことを「向社会性」と言います。自分自身の「向社会性」はどうでしょうか？「他者のために貢献する」「社会の役に立つ」ということは、何か特別なボランティア活動をしたり、大きな偉業を成し遂げたりすることだけではありません。災害のニュースを見て「自分にできる支援はないだろうか」と考えたり、例えば募金に協力したりすることも大切な貢献です。そして何より、今、自分の周りにいる友達や家族、つくし野中の地域の人々に対して、温かい言葉をかけたり、困っている人を助け合ったりすることこそが、すべての出発点なのです。

2学期も行事がたくさんあります。その中で、仲間と励まし合ったり、互いに支え合ったりする機会が数多くあります。自分の役割をしっかりと果たすこと、困っている友達に一歩歩み寄って声をかけること、周囲のために進んで動くこと。こうした小さな行動の一つひとつが、確実に「誰かの力」になり、「社会への貢献」へとつながっていきます。誰かの役に立てたと実感できたとき、私たちは自分自身にも自信を持ち、温かい気持ちになることができます。人のために動くことは、巡り巡って自分の心も豊かにしてくれるのです。

2学期は、自分のことだけでなく、隣にいる友達や周囲の人々、さらには社会全体に少し心を寄せて、「自分に何ができるか」を考え、小さな一歩を踏み出してみてください。みなさん一人ひとりが持つ温かい心が、つくし野中学校を、そして社会をより良くしていくことを大いに期待しています。

Tsukushino Junior High School Every Day

■ 部活動 夏季総体特集 ■

都大会に出場した陸上部、剣道部(男子)、卓球部(男女)、硬式テニス部(女子)、弓道部のみなさん、吹奏楽コンクールに出場した吹奏楽部の皆さん、お疲れさまでした。先輩としての最後の勇姿を後輩に見せることができたことでしょうか。3年生はこれらの大会等でひとまず引退となります。1・2年生での活動になり、戸惑うことも出てくると思いますが、先輩の取り組んできた姿や声掛けなどを思い出しながら、新たな目標に向かって頑張ってもらいと思います。また、夏休み中に新人大会が行われている部活、新人大会に向けて練習試合や招待大会等もたくさん実施されています。下級生の皆さん、あっという間の一年間になりますので、悔いのない活動にしてください。保護者の皆様には、夏休み期間の活動(熱中症対策等)にご理解とご協力いただき、ありがとうございました。これからもサポートよろしくお願いいたします。

<東京都大会等(コンクール)に進出した部活動>

- ・陸上競技部(男女)……………女子走り幅跳(4m28)、男子200m(23 秒25)、男子400m(51秒16、第3位)、男子800m(2 分01秒83)
- ・剣道部(男子個人)……………三回戦敗退
- ・卓球部(男女個人)……………一回戦で敗退(男子)、二回戦敗退(女子)
- ・硬式テニス(女子団体)……………一回戦敗退
- ・東京都中学校吹奏楽コンクール……「銀賞」受賞
- ・弓道部(都大会)……………予選を勝ち抜き、関東中学生弓道大会に出場。



★関東中学校陸上競技大会の報告

陸上競技部3年生の男子生徒が、山梨県で開催された関東中学校陸上競技大会に種目；共通男子400mで出場しました。記録は満足いくような結果となりませんでしたが、レース後にトラックに向かって礼を尽くす姿はとても立派でした。

●関東中学校陸上競技大会

男子共通400m 記録;51秒48

《町田市小学生・中学生フォーラム》

7月17日(金)に町田第一小学校で開催されました。町田市内の全ての小中学校から代表生徒が参加し、各学校で行っている「異学年や先生、地域の人などとのつながりについて取り組んでいることや異学年や先生、地域の人などとのつながりを深める方法をテーマとして、様々な話し合いや発表を行いました。つくし野中学校からは生徒会の2年生2名が参加し、つくし野中学校の取組を他校に発表するとともに、他校の発表を聞いて、自分の学校に何が還元できるかを考えていました。

☆☆☆ 学びのアップデート(教職員) ☆☆☆

生徒の皆さんだけでなく、つくし野中学校では教職員も学び続ける意識を大切にしています。夏休みを利用して、多くの教員が自主的に研修に臨み、自身のスキルアップを図っています。中学校でも校内研修担当が中心となり、指導の幅を広げる研修会を行いました。一つはアレルギー対応研修会&AED 研修会を実施しました。あらためてアレルギー対応について確認するとともに、エピペンや AED 使用方法、心肺蘇生法の実技講習会を行いました。また、町田市消防署から講師を招いて、火災に対する教員の対応研修を行いました。実際に火災現場における一次消火(消火器や消火栓)について学んだり、校内防火施設の使用方法を学びました。8月後半には「魅力ある集団づくり」に関連して、立正大学から鹿嶋教授をお招きし、近隣小学校の先生方と合同で「構成的グループエンカウターの手法を用いた組織づくり」についての研修を行いました。これらの学んだことを二学期からの指導に生かしていきます。すぐに変化が現れるわけではありませんが、じっくりと生徒の変容を見ていただければと思います。

また、つくし野中学校では学期始めと終わりに服務事故防止研修を実施しています。東京都教育委員会が作成した資料を活用したり、ヒヤリハットの事例検討、ケーススタディを行うなど、教職員一人ひとりが改めて自身の服務について見つめ直し、信頼される学校づくりの重要性を再認識する貴重な機会となりました。今後も、学校全体で意識を高め、子どもたちが安心して学べる環境を維持してまいります。保護者の皆さまにおかれましても、気になることがありましたら、お早めにご相談いただければと思います。



保護者の皆様へ

9月6日(日)～7日(月)にかけて関東地方を襲った豪雨への対応にご理解とご協力いただきありがとうございました。今後も「気象警報が発表された際の対応」については、7月15日にテトルで配信している資料でご確認・ご対応いただきますようお願いいたします。

さて、今学期も9月11日(金)からの学校公開を皮切りに、お子様の活動をみていただく機会を設けております。ご多用とは存じますが、お越しいただくことを心よりお待ちしております。

10月のおもな予定

- 1日(火) 1年東京グローバルゲートウェイ校外学習(1年給食なし)
- 4日(日) 3年修学旅行(始)(3年給食なし)
- 6日(火) 3年修学旅行(終)(3年給食なし)
- 7日(水) 3年振替休業日(3年給食なし)
- 8日(木) 連合体育大会(参加者弁当持参)
- 10日(土) 土曜授業(給食なし)
- 15日(木) 合唱祭(テアトロ・ジーリオ・ショウワ)給食なし
- 16日(金) 振替休業日(土曜授業分)
- 20日(火) 3年第2回進路説明会
- 22日(木)～30日(金) 3年教育相談 1・2年2者面談
全学年午前授業(28日のみ給食なし)
- 29日(木) I組マラソン大会

まるごと好きです

道徳の教材に「まるごと好きです」という話があります。主人公の女の子は、田舎から城下町に転校してきました。新しい中学校にはいろいろなタイプのクラスメイトがいました。それぞれの人が良いところも、嫌なところも持っています。



完璧な人はいません。例えば、呉服屋のAさんは、センスが良くて、容姿も美しいが、人によってはツンとすましていると見る人がいるかもしれない。日本舞踊を踊っているBさんは、身のこなしがおしとやかだが、なよなよしていると見ることもできる。数学好きのCさんは、一つのことに打ち込むさわやかさがあるが、まわりを忘れるぐらいがっさらぼうとも言われてしまう。その他のクラスメイトも主人公自身も同じことで、良いところも嫌なところもある。だから主人公の女の子は、その人の良いところも嫌なところもひっくるめて、まるごとその人のことを好きになるということをしています。その上で、その人の好きな部分にだけ拍手をするようにしています、という話です。

2学期は中間考査を皮切りに、生徒会役員選挙、1年生TGG校外学習、3年生修学旅行、2年生職場体験など様々な行事があり、とても長いです。行事が重なると普段は気づかなかったクラスや学年の仲間の様々な様子が見えてきます。

よい人間関係をつくるには、人にはそれぞれの個性があります。いろいろなものの見方や考え方があります。自分とは違うからといって毛嫌いするのではなく、それぞれの個性を認め合えると、人との関わりはとても円滑になります。また、ものの見方や考え方も広がります。

長い2学期を乗り越えるためにも、これからの学校生活を充実したものにするためにも普段から意識して行動できるといいですね。

(副校長 残間 喜満)